

歯科会員調査

# 医療用手袋の値上がり幅

## 「10%程度」以上が8割

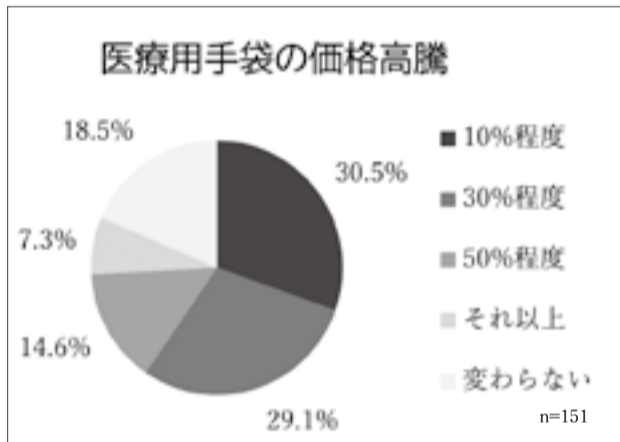
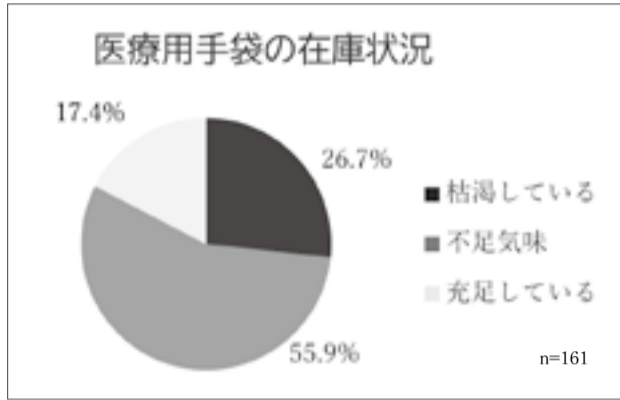
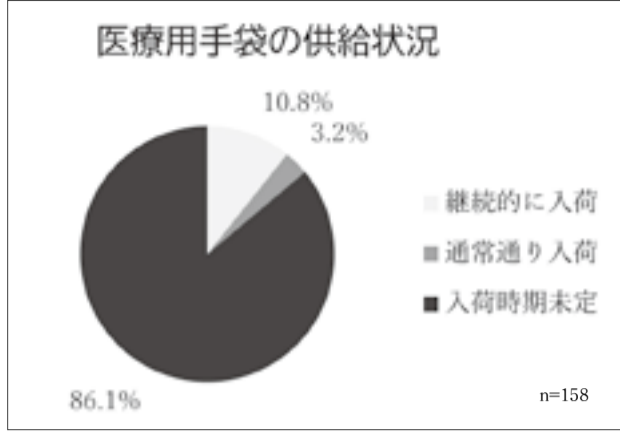
### 価格転嫁できない医療機関へ支援は必須

「出荷調整と価格上昇が同時に起こっており、医療継続の困難及び、コスト増に伴うキャッシュフローの悪化が心配です」、「診療と材料の仕入れのため苦慮し、物価高騰し従業員にも賃金を上げなければならず、開業医はやっていけない」。既報の通り、協会は4～5月に歯科会員へ「医療物資の在庫・供給状況緊急アンケート」を実施した。医療用手袋（グローブ）の「入荷時期未定」は8割超で、先行きへの不安が多数寄せられた。値上がり幅は「10%程度」以上が8割に達し、「歯科関連」の倒産が過去20年で最多の現下、価格転嫁できない医療機関へ支援は必須だ。結果の詳細は次の通り（調査概況と回答者の背景は末尾）。

#### 供給状況

#### 調査した物資全てで「入荷時期未定」5割以上

▽医療用手袋（グローブ）▽マスク▽エプロン、その結果、全ての医療物資の傾向を示した。「入荷時期未定」が最も高く、その割合も55.8%（エプロン68.9%、注射器63.3%、滅菌パック69.5%）、次いで「継続的に入荷」が86.1%、「通常通り入荷」が3.2%、「入荷時期未定」が10.8%と高率だった。



#### 在庫状況

#### 医療用手袋「枯渇」3割弱

前述の医療物資5種類の在庫状況について、「充足している」「不足気味」「枯渇している」の三段階評価で尋ねた（単一回答）。その結果、医療用手袋が「枯渇している」と回答したのは26.7%だった。「不足気味」は55.9%、「充足している」は17.4%だった。

#### 価格高騰

#### 医療用手袋「50%程度」以上も2割

前述の医療物資5種類の価格高騰の状況について、「変わらない」「10%程度」「30%程度」「50%程度」「それ以上」の五段階評価で尋ねた（単一回答）。その結果、価格高騰の幅が最も大きかったのは医療用手袋だった。具体的には「10%程度」30.5%が最も多く、「30%程度」は29.1%、「50%程度」は18.5%、「それ以上」は14.6%、「変わらない」は7.3%だった。

「それ以上」の五段階評価で尋ねた（単一回答）。その結果、価格高騰の幅が最も大きかったのは医療用手袋だった。具体的には「10%程度」30.5%が最も多く、「30%程度」は29.1%、「50%程度」は18.5%、「それ以上」は14.6%、「変わらない」は7.3%だった。

「枯渇している」と回答したのは26.7%だった。「不足気味」は55.9%、「充足している」は17.4%だった。

「枯渇している」と回答したのは26.7%だった。「不足気味」は55.9%、「充足している」は17.4%だった。

「枯渇している」と回答したのは26.7%だった。「不足気味」は55.9%、「充足している」は17.4%だった。

「枯渇している」と回答したのは26.7%だった。「不足気味」は55.9%、「充足している」は17.4%だった。

「枯渇している」と回答したのは26.7%だった。「不足気味」は55.9%、「充足している」は17.4%だった。

医療ソーシャルワーカーが相談に応じます

### 医療費相談室

TEL 045-313-2225

相談無料

6/17 (水) 14時～17時

事前予約も承ります。地域医療対策部へご連絡ください。(TEL 045-313-2111)

※通話料がかかります。